

様式第1号の1

農地法第3条の規定による許可申請書

令和 年 月 日

宇治市農業委員会会長あて

譲渡人 関西 一郎

譲受人 株式会社 宇治ファーム

代表取締役 京都 府太郎

下記農地（採草放牧地）について、賃借権を設定したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

記

1 当事者の氏名等（国籍等は、所有権を移転する場合に譲受人のみ記載してください。）

当事者	氏名	年齢	職業	住所	国籍等	在留資格又は特別永住者
譲渡人	関西 一郎	85	農業	宇治市 町 1番地		
譲受人	株式会社宇治ファーム 代表取締役 京都 府太郎		農業・製造業	宇治市 町 20番地	—	在留 / 特別

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積 (㎡)	対価、賃料等の額 (円)		所有権以外の使用収益権が設定されている場合	
	登記簿	現況			[10a当たりの額]	権利の種類、内容	権利者の氏名(名称)
伊勢田町 100番	田	田	1,485	675万	454万5千		
伊勢田町 101番	田	田	1,485	675万	454万5千		

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

譲渡人の事由 高齢になり耕作が困難となってきたため、経営規模を縮小したい。

譲受人の事由 営農規模の拡大を検討していたところ、関西一郎さんから話があり、検討した結果、条件も良く、

借りることにした。

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

時期 令和 年 月 日 契約期間

対価 総額 13,500,000 円 3.3㎡当り 15,000 円

5 権利を設定、移転しようとする者及びその世帯員が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積、並びにこれらの者が権原に基づき、現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

	譲受人					
	所有地			借入地		経営地 + (m ²)
	自作地 (m ²)	貸付地 (m ²)	その他 (m ²)	現に耕作中の 土地 (m ²)	その他 (m ²)	
田	5,000					5,000
畑	1,000			3,000		4,000
樹園地						
計	6,000			3,000		9,000
採草放牧地						
山林その他						

6 権利を取得しようとする者又はその世帯員（構成員）が、その耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況（法人にあってはその法人のその耕作又は養畜の事業に係る労働力の状況）

	氏名	年齢	権利取得者 との続柄	職業	年間農作業 従事日数	備考
世帯員等 (構成員)	京都 府太郎	65	代表取締役		0	
	宇治 市郎	60	常務取締役		200	
	平安 次郎	50	取締役		200	
	山城 三郎	50	取締役		90	
常雇						
季節雇・臨時雇		年間延日数				日

7 権利を取得しようとする者及びその世帯員の農機具及び家畜の保有状況

種類	農機具							家畜		
	農業用 自動車	耕うん機	トラクタ ー	田植え機	コンバイン	乾燥機	耙耨り機			
数量	3	2	1	2	1	1	1			

8 周辺地域との関係等

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載して下さい。（例えば、集落営農や担い手への集積等の取組への支障、農薬の使用方法的の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載して下さい。）

従来通りの水稻栽培を行う予定であり、地域の水利調整に参加し、地域の取り決めに従って支障が出ないよう耕作を行います。また、農薬の使用方法的等について、地域の防除基準に従います。

農地法第3条の規定による許可申請書

令和 年 月 日

宇治市農業委員会会長あて

譲渡人

譲受人

下記農地(採草放牧地)について.....を.....したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

記

1 当事者の氏名等(国籍等は、所有権を移転する場合に譲受人のみ記載してください。)

当事者	氏名	年齢	職業	住所	国籍等	在留資格又は特別永住者
						在留/特別
譲渡人						
譲受人						在留/特別

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積(m ²)	対価、賃料等の額(円)	〔10a当たりの額〕	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	
	登記簿	現況				権利の種類、内容	権利者の氏名(名称)

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

譲渡人の事由.....

譲受人の事由.....

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

時期 令和 年 月 日 契約期間

対価 総額 3.3 m²当り

5 権利を設定、移転しようとする者及びその世帯員が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積、並びにこれらの者が権原に基づき、現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

	譲受人					
	所有地			借入地		経営地 + (m ²)
	自作地 (m ²)	貸付地 (m ²)	その他 (m ²)	現に耕作中の 土地 (m ²)	その他 (m ²)	
田						
畑						
樹園地						
計						
採草放牧地						
山林その他						

6 権利を取得しようとする者又はその世帯員（構成員）が、その耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況（法人にあってはその法人のその耕作又は養畜の事業に係る労働力の状況）

	氏名	年齢	権利取得者 との続柄	職業	年間農作業 従事日数	備考
世帯員等 (構成員)						
常雇						
季節雇・臨時雇		年間延日数				日

7 権利を取得しようとする者及びその世帯員の農機具及び家畜の保有状況

種類	農機具						家畜		
	農業用 自動車	耕うん機	トラクター						
数量									

8 周辺地域との関係等

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載して下さい。（例えば、集落営農や担い手への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載して下さい。）

（例）権利移転前の営農を引き継ぐ（周囲と同等の農業を行う）ため周辺農地への支障はない

農地法第3条第3項の規定により申請する場合の追加記載書

権利を取得しようとする者が、農地所有適格法人以外の法人である場合、又は、その者又はその世帯員等が農作業に常時従事しない場合には、以下も記載してください。

< 農地法第3条第3項第2号関係 >

1 地域との役割分担の状況

地域の農業における他の農業者との役割分担について、具体的にどのような場面でどのような役割分担を担う計画であるかを以下に記載してください。

(例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、農道、水路、ため池等の共同利用施設の利用の遵守、獣害被害対策への協力等について記載してください。)

--	--

< 農地法第3条第3項第3号関係 > (権利を取得しようとする者が法人である場合のみ記載してください)

2 その法人の業務を執行する役員又は重要な使用人のうち、その法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事する者の氏名及び役職名並びにその法人の行う耕作又は養畜の事業への従事状況

氏名	役職名	その者の耕作又は養畜の事業への従事状況	
		その法人が耕作又は養畜の事業(労務管理や市場開拓等も含む)を行う期間	そのうちその者が当該事業に参画・関与している期間
		1年の内 か月	1年の内 か月(直近の実績)
			1年の内 か月(見込み)
		1年の内 か月	1年の内 か月(直近の実績)
			1年の内 か月(見込み)
		1年の内 か月	1年の内 か月(直近の実績)
			1年の内 か月(見込み)

〔追加で必要となる添付書類〕

農地法第3条第3項第1号に規定する条件その他適正な利用を確保するための条件が記載されている契約書の写し

(当該契約書には、「賃貸借契約が終了したときは、乙は、その終了の日から 日以内に、甲に対して目的物を原状に復して返還する。乙が原状に復することができないときは、乙は甲に対し、甲が原状に復するために要する費用及び甲に与えた損失に相当する金額を支払う。」、「甲の責めに帰さない事由により賃貸借契約を終了させることとなった場合には、乙は、甲に対し賃借料の年分に相当する金額を違約金として支払う。」等を明記することが適当です。)